

## 人吉市雨庭整備等促進補助金

人吉市では、令和2年7月豪雨後の球磨川の新たな治水の方向性である「緑の流域治水」の取組みに位置付けられた「雨庭」の整備等に係る費用の一部を補助する事業を開始します!!

### 緑の流域治水とは?

河川の整備だけでなく、遊水地の活用や森林整備、避難体制の強化を進め、さらに、自然環境との共生を図りながら、流域全体の総合力で安全・安心を実現していくもの

### 雨庭とは?

屋根や道路等に降った雨水を側溝や水路等に直接排水せず一時的に貯留し、ゆっくり地中に浸透させる雨水貯留・雨水浸透施設(注)雨水浸透ます、雨水貯留槽、透水性舗装、浸透型側溝等は除く。



## 助成対象者

1から3を満たす個人又は1から7を満たす法人

1. 市内に住民票を有する者又は市内に事務所を有する法人であること
2. 市税等を滞納していないこと
3. 暴力団又は暴力団の統制下でないこと
4. 補助対象事業を着実に実施できる事務及び組織体制があること
5. 定款、規約、会則等を有する法人であること
6. 宗教活動や政治活動を目的とした法人でないこと
7. 特定の公職(候補者を含む)又は政党を推薦、支持若しくは反対することを目的とした法人ではないこと

## 補助対象経費等

- 雨庭の整備(調査・測量、設計、工事)に要する経費及び雨庭の周知啓発のための看板の設置に要する経費
- 補助率 **2分の1**
- 補助上限額 個人 **50万円**、法人 **200万円**

(注)次の1から3は補助の対象になりません!

1. 雨庭整備に係る人件費
2. 雨庭及び看板の維持管理並びに看板の老朽化等に伴う更新に要する経費
3. 雨庭の整備に伴う土地の取得に係る経費

## 世田谷区のグリーンインフラ

### 目次

- 「令和7年度世田谷グリーンインフラ学校～自分でもできる雨庭づくり～」を開催します！
- 「せたがやグリーンインフラガイドライン」ができました（令和6年3月）
- グリーンインフラに関する動画の配信について
- 「せたがやグリーンインフラライブラリー」について
- グリーンインフラを拡げていきましょう！
- グリーンインフラって知ってる？
- 添付ファイル

世田谷区では、グリーンインフラを「自然が持つ様々な機能を積極的かつ有効に活用することで、安全で快適な都市の環境を守り、街の魅力を高める社会基盤や考え方のこと。」と捉え、「世田谷区みどりの基本計画」、「世田谷区豪雨対策行動計画」や「世田谷区環境基本計画」などに盛り込み、みどりの保全や豪雨対策を推進しています。

## 「令和7年度世田谷グリーンインフラ学校～自分でもできる雨庭づくり～」を開催します！

世田谷区では、令和3年度から世田谷グリーンインフラ学校を毎年開催しています。

この学校は、自然環境が持つ多様な機能を賢く利用するグリーンインフラや雨水利用等に関して、有識者による講義やグループディスカッション等で体系的に学び、自宅の庭でも再現可能な「雨庭」を参加者自らの手で演習フィールドにつくる公開講座です。

本学校では「雨庭づくりを通じて、グリーンインフラの魅力や意義を地域の中で率先して広めていく」グリーンインフラ実践者の育成をめざしています。

PDF



(PDF : 537KB)

PDF



(PDF : 376KB)

パンフレット（表）

パンフレット（裏）

申込方法などの詳細については、（一財）世田谷トラストまちづくりトラストみどり課HPホームページをご覧ください。

<https://www.setagayatm.or.jp/trust/support/gi/planning-study.html>

## 地下水とは

### 地表水と地下水

一般的に行政で取り扱う範囲の水循環は、大きく地表水と地下水に分けられます。

#### 地表水とは

- 地表水は、溪流や川のように地上を流れていたり、貯水池、ダムなどに貯められている水です。
- 地表水は、重力により、標高の高いところから低いところに向かって流れます。

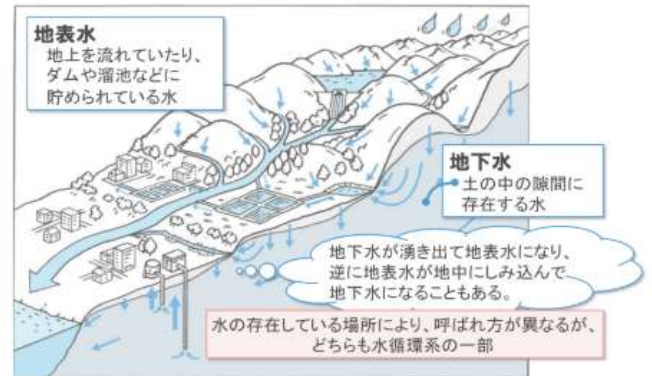
#### 地下水とは

- 地下水は、雨が地表面から地中に浸透して、土の中の隙間の部分に存在する水です。  
土の中の隙間を全て地下水で満たしている場合を飽和状態とよびます。

地表近くなど、土の中の隙間に水と空気が両方ある場合を不飽和状態といい、その場合、不飽和状態の部分の水を土壌水と呼ぶ場合もあります。

- 地下水は、重力だけでなく圧力によって流れる場合もあり、場所によっては下から上への流れもあります。
- 例えば、谷や崖下の湧水のように水が地表面に湧き出ている場所では、地下水が深いところから浅いところに向かって流れている場合があります。

地下水は、地形や地下の地質、圧力(水圧)などの条件により、三次元的に流動します。



⊕ 画像を拡大

#### 地表水と地下水の一体的な循環

- 地表水と地下水は、全く異なる場所の、特性も違う流れですが、その時に「水」が存在している場所によって呼び方が異なるだけであり、実際には「水」として循環している一連の流れの一部で、同じものです。
- 例えば山に降った雨は地表面から浸透し、地下水として流動した後、湧水として再び地表面に湧出し、そこから谷に沿って、溪流や河川として地表面を流下するといった流れがあります。  
河川が山地から扇状地に流出すると、河川水の一部は地中に再度浸透して地下水となって流動し、また河川水の一部はかんがい用水として農地に流されて、そこから地中に再度浸透して地下水となる場合もあります。  
扇状地から平野に地中をゆっくりと流動した地下水の一部は河川に流出し、河川水として海に流出したり、河川に流出しなかった地下水の一部は、そのまま地下水として海に流出したりします。

#### 留意点

- 便宜的に、水循環を地表水と地下水に分けて議論する事は多いですが、実際には、どちらも一連の水循環系の一部であり、地表水に関する施策や事業が地下水に、また地下水に関する施策や事業が地表水に相互に影響を及ぼす可能性が大きいということに、留意する必要があります。

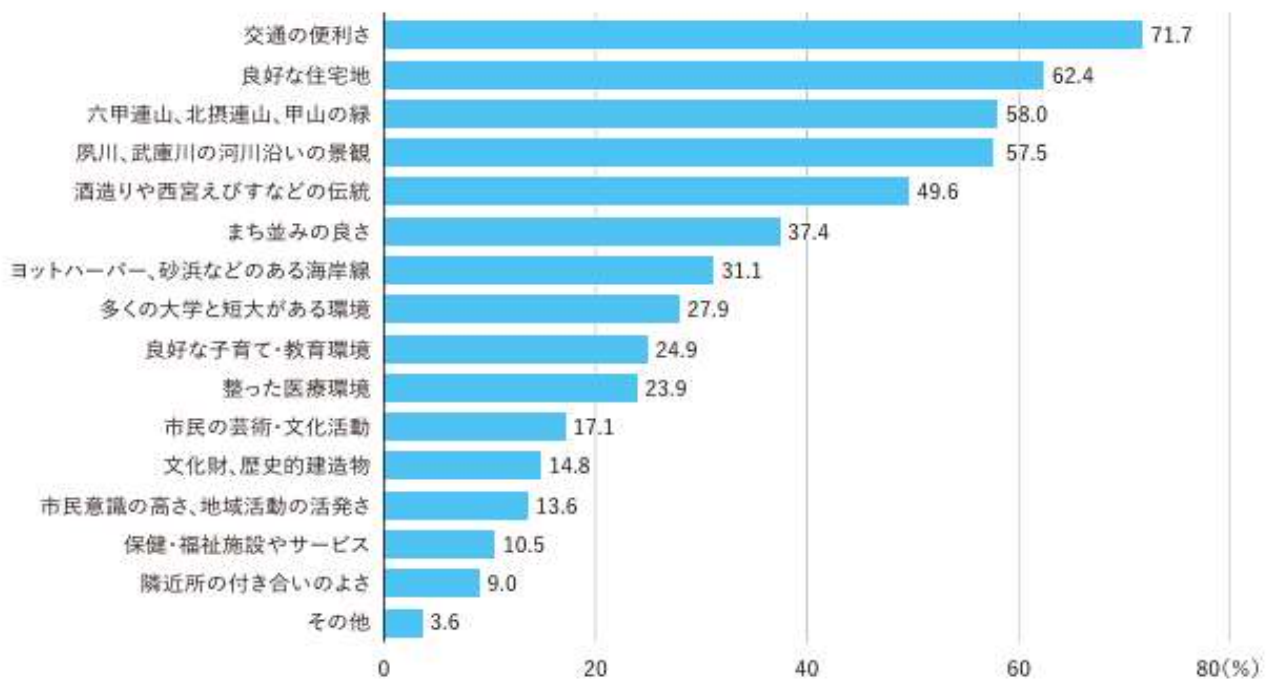
(出典)内閣官房 地下水マネジメント推進プラットフォーム

※地下水の涵養とは、雨水や地表水が土壌を通じて地下に浸透し、  
帯水層に地下水として蓄えられるプロセスやその促進活動を指します。

## ④都市の印象

西宮の良さについて、16個の選択肢から当てはまるものを選んでいただいたところ、全市の集計結果では、「交通の便利さ」、「良好な住宅地」、「六甲連山、北摂連山、甲山の緑」、「夙川、武庫川の河川沿いの景観」が上位となりましたが、地域別の集計結果をみると、北部地域では「交通の便利さ」、「整った医療環境」の選択割合が低いなど、それぞれの地域特性がうかがえます。

■図20 西宮の良さについて(全市集計)



(出典)第5次西宮市総合計画